

庁舎機能再編検討基礎調査 中間報告について

○庁舎機能再編検討基礎調査について

令和３年２月に策定した「箕面市新改革プラン」における「施設の再配置構想」での行政機能の集約化・再編にあたっては、より詳細な検討を行い、具体的な庁舎の在り方の方向性を調査・検討する必要があるため、この基礎調査を実施する。

○中間報告について

(1) 庁舎機能再編の方向性

既存の市役所施設（市役所本館・別館、市民会館）の更新と、健康福祉部等の移転を始めとする庁舎機能の集約化は、一体的に実施することが最も合理的かつ効率的であり、これを一体的な事業として実施する。

(2) 庁舎機能再編の時期

耐用年数に関する指針や近隣市の庁舎使用状況等も踏まえ、また本館・別館・市民会館とも新耐震の基準に適合していること、及び建物長寿命化の観点から、耐用年数を７０年と設定し、本館が築７０年となる２０３４年を庁舎機能の再編時期と設定する。

○その他

- ・原則、再編時期までは、市役所本館・別館、市民会館会議棟とも継続利用を前提とし、現状のまま活用する。したがって、会議棟の貸室運用は来年度以降も継続する。
- ・一方で、市民会館ホール棟は、既に７月で閉館しており、跡地活用の可能性について調査・検討を行う。
- ・この中間報告の内容をもとに、今後、詳細な調査・検討を進め、年内に最終報告を行う。

庁舎機能再編検討基礎調査

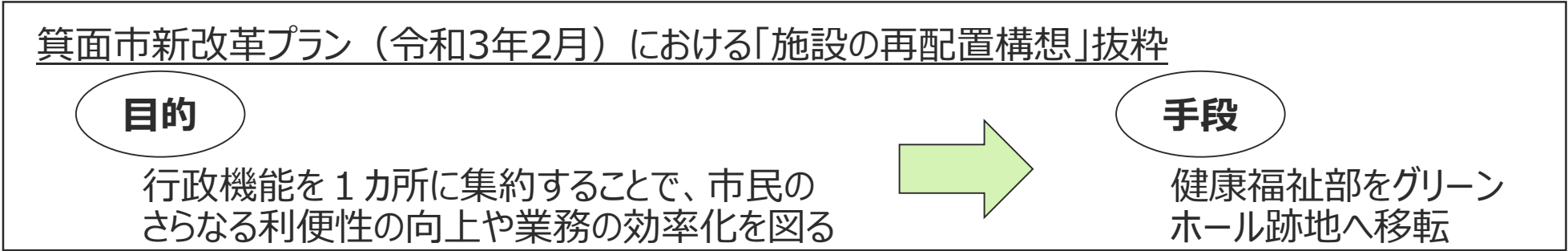
中間報告（素案）説明資料

2021.8.31

箕面市

1. 検討の前提

庁舎機能の再編にあたっては、市役所施設全体の施設更新等を踏まえて検討する必要がある



一方で、箕面市役所施設では以下の通り、複数の施設で竣工から50年以上が経過している。

箕面市役所施設の概要

施設名		構造	築年数	耐震性能
箕面市役所本館		RC造	57年	耐震補強済
箕面市役所別館		SRC造	39年	新耐震
グリーンホール （市民会館）	ホール棟	RC造	55年	耐震補強済、特定天井未対応
	会議棟			耐震補強済

『グリーンホール（ホール棟）の再整備について【最終報告】』（2015年1月6日）では、「耐震・バリアフリー対策」の不足や、「施設の老朽化、設備機能の陳腐化」等を指摘されている。



箕面市役所本館についても老朽化が進んでいると考えられ、市役所施設全体の施設更新等についても検討する必要がある。

2. 再編の方向性について

健康福祉部等の移転と市役所施設全体の施設更新は一体的な事業として同時に実施することが、最も合理的かつ効率的で望ましい。

以下 2 点について、別個の事業として実施するか、一体的な事業として実施するかを検討する。

- ①健康福祉部等のグリーンホール跡地への移転
- ②市役所施設全体の施設更新

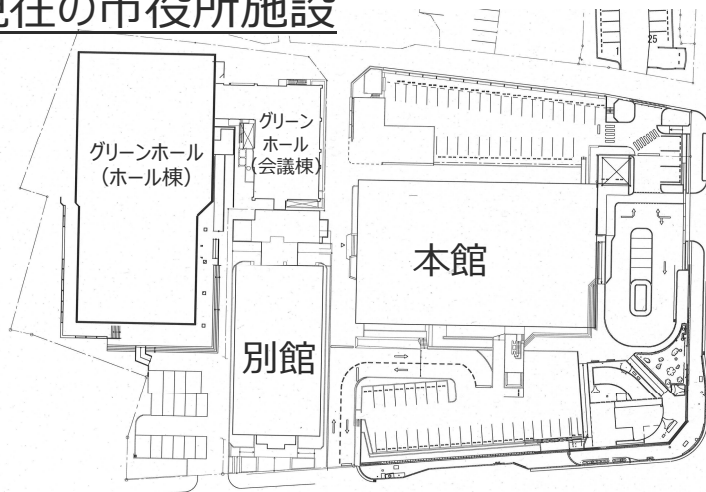
庁舎機能再編の想定パターン

想定パターン	メリット	デメリット
①別個の事業として実施	機能集約が早期に実現できる	- 健康福祉部等と既存の市役所機能を一体的に再編することができず、効率的な機能集約を果たすことができない - 一体的な事業として実施する場合に比べ、事業費が増大し、工事機会も増える
②一体的な事業として実施	- 健康福祉部等と既存の市役所機能を一体的に再編することができ、より効率的な機能集約を果たすことができる - スケールメリットにより事業費が削減できる可能性がある - 工事機会を集約できる可能性がある	機能集約が、市役所施設全体の施設更新が必要になる時期まで延びる

2. 再編の方向性について

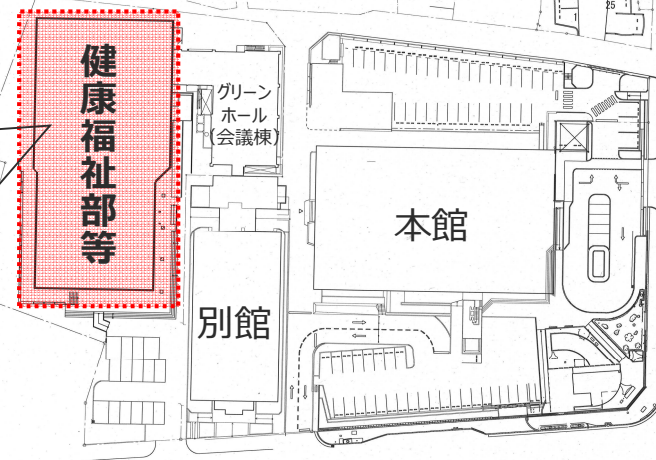
各想定パターンイメージ図

現在の市役所施設

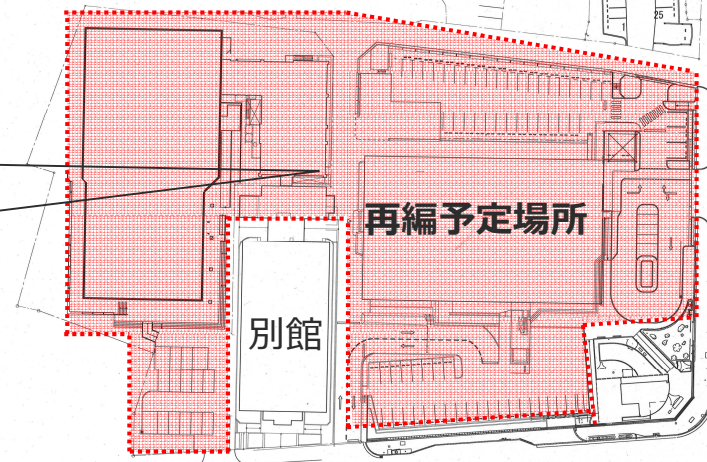


効率的な機能
集約を果たすこ
とができない可能性
がある

①別個の事業として実施



②一体的な事業として実施



現市役所本館+健康福祉部等
→ より効率的な機能集約が可能

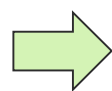
健康福祉部等の移転と市役所施設全体の施設更新は一体的な事業として同時に実施することが最も合理的かつ効率的で望ましい。

3. 再編時期の検討について

2034年を市役所本館・グリーンホール会議棟の建替時期と想定し、庁舎建物などの再編時期として設定する

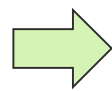
○建築物の耐用年数に関する指針（SRC・RC造）

建築物の耐久計画に関する考え方
（（社）日本建築学会）



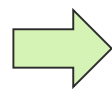
50年～80年
（普通品質）

主な減価償却資産の耐用年数
（建物・建物付属設備）（国税庁）



50年
（事務所用）

○近隣市の庁舎の使用年数
（伊丹、岸和田、貝塚、和泉、柏原）



49年～71年

市役所施設の耐用年数は
70年と設定

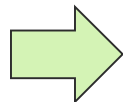
建替時期



再編時期の設定

施設名	築50年時点	築70年時点
箕面市役所本館	—	2034年
箕面市役所別館	2032年	2052年
グリーンホール（市民会館）	—	2036年

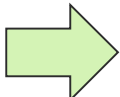
・市役所施設は全て新耐震の基準に適合している
・建物の長寿命化の観点



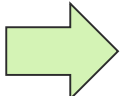
市役所施設は建替時期まで最大限使用し、
再編時期を2034年と設定する

4. まとめ

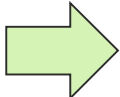
- ・ 2034年を庁舎機能の再編時期と位置付け、既存の市役所施設の更新と健康福祉部等の移転を始めとする庁舎機能の集約化を一体的に実施する

 一体的に事業を実施することが最も合理的かつ効率的な再編の方向性であるとして、今後、詳細な調査・検討を進める。

- ・ 原則再編時期まで各種建物は継続利用を前提として調査・検討を進める

 再編時期までは、市役所本館・別館、グリーンホール会議棟とも現状の活用のままが適切と考える。

- ・ グリーンホールのホール棟の跡地活用の可能性についても調査・検討を行う。

 仮設庁舎としての活用や、除却して駐車場化すること等について、可能性を探る。